

2026 年 9 月 18 日

各 位

フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証スタンダード市場)
問合せ先：取締役副社長 上席執行役員 千田 高
電話番号：(03) 6456-4600

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が組成した特別目的会社であり、連結子会社であるソーラー2025 春合同会社が保有する太陽光発電プロジェクトに係る発電設備等を、当社の連結子会社であるソーラー2026 秋合同会社に譲渡することを決議しました。本件譲渡及びこれに伴うソーラー2025 春合同会社の清算に関連して、特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失計上の経緯

当社は、2025 年 8 月に、ソーラー2025 春合同会社を通じて、事業譲渡により東北・北海道の 10 地点における太陽光発電所開発プロジェクトを取得し、2026 年 3 月から順次、売電を開始しました。一方、開発コストの回収には長期間を要することが課題となっていたことから、資金効率の向上を図るため、今般、オフバランス化に向けた取り組みを開始することとしました。本件譲渡は、その取り組みの一環です。

太陽光発電プロジェクト（発電設備、小売電気事業者との電力受給契約等）を譲り受けるソーラー2026 秋合同会社は、金融機関からのプロジェクトファイナンスによる借入れ、並びに当社からの劣後ローン及び匿名組合出資により資金調達を行います。

ソーラー2026 秋合同会社については、2027 年 9 月期に第三者から匿名組合出資を受け入れることを想定しております。当該出資の受入れ等により、当社は劣後ローンの一部について返済を受けるとともに、ソーラー2026 秋合同会社の非連結化を目指す方針です。

なお、ソーラー2025 春合同会社は、本件譲渡後、清算する方針です。

今後、ソーラー2026 秋合同会社は、ソーラー2025 春合同会社と当社子会社である株式会社パブリック電力との間で締結している太陽光発電所管理委託契約上のソーラー2025 春合同会社の地位を承継する予定です。これにより、株式会社パブリック電力は、引き続き発電設備の管理業務を行い、同業務に係る報酬を受領する予定です。

また当社子会社の FGI キャピタル・パートナーズ株式会社は、ソーラー2026 秋合同会社

との間でアセットマネジメント契約を締結し、同契約に基づく報酬を受領する予定です。
当社グループは、これらの業務による継続的な収益を見込んでおります。

2. 2026 年 9 月期業績への影響

本件により 2026 年 9 月期の連結決算において、特別損失として 4 億円を計上する見込みです。また、個別決算において、貸倒引当金繰入額 4 億円を特別損失として計上する見込みです。

2026 年 9 月期の連結業績予想への影響については、他の事業の進捗状況等を総合的に勘案した結果、2026 年 5 月 12 日に公表した 2026 年 9 月期の通期連結業績予想を現時点で修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上